



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 三菱倉庫株式会社
 コード番号 9301 URL <http://www.mitsubishi-logistics.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤倉 正夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 稲毛 尚之
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 03-3278-6611

2019年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	114,978	4.5	6,609	0.8	9,210	3.3	6,945	24.1
2019年3月期第2四半期	109,979	4.3	6,557	△3.4	8,917	△1.4	5,598	△12.4

(注) 包括利益 : 2020年3月期第2四半期 1,820百万円(△84.8%) 2019年3月期第2四半期 11,984百万円(△8.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	80.10	—
2019年3月期第2四半期	63.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	476,510	293,243	60.9
2019年3月期	482,575	299,104	61.4

(参考) 自己資本 : 2020年3月期第2四半期 290,283百万円 2019年3月期 296,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	30.00	45.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	232,000	2.1	11,700	△7.6	15,900	△8.3	12,500	8.1	144.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	87,960,739株	2019年3月期	87,960,739株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	2,051,939株	2019年3月期	368,700株
------------	------------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	86,716,002株	2019年3月期2Q	87,592,905株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、中国で景気が緩やかに減速している一方、米国では着実に景気回復が続いたほか、欧州でも景気は一部に弱さがみられるものの緩やかに回復しました。またわが国経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、雇用情勢が着実に改善し、個人消費が持ち直すなど、景気は緩やかに回復しました。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫及び港湾運送等物流業界においては、貨物量の伸び悩みや競争の激化、人手不足等を背景としたコストの増加により引き続き厳しい状況のうちに推移し、他方不動産業界においては、賃貸オフィスビルの需給改善により一部に賃料の上昇がみられるなど比較的堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、積極的な営業活動を推進し、物流事業では、医薬品等の配送センター業務の拡大、海外拠点の拡充等に努め、不動産事業では、テナントの確保及び賃料水準の維持・向上に努めました。他方、コスト管理の徹底と業務の効率化を一層推し進め、業績の確保に努めました。

この結果、営業収益は、物流事業で、国際運送取扱事業において貨物取扱量の減少等に伴い収入が減少したものの、倉庫、陸上運送及び港湾運送の各事業において貨物取扱量の増加等に伴い収入が増加したほか、不動産事業で、不動産賃貸事業においてテナントの異動等により収入が減少したものの、マンション販売事業における販売物件の増加等により収入が増加したため、全体として前年同期比49億9千9百万円(4.5%)増の1,149億7千8百万円となりました。また営業原価は、物流事業で、貨物取扱量の増加や施設の増強に伴い人件費、減価償却費等が増加したほか、不動産事業で、マンション販売物件の増加に伴い不動産販売原価等が増加したため、全体として前年同期比50億2千5百万円(5.1%)増の1,031億1千5百万円となり、販売費及び一般管理費は、人件費の減少等により、同7千8百万円(1.5%)減の52億5千3百万円となりました。

このため、営業利益は、物流事業で増益、不動産事業で減益、全体として前年同期比5千1百万円(0.8%)増の66億9百万円となり、経常利益は、持分法による投資利益が減少したものの為替差損益の改善により、同2億9千2百万円(3.3%)増の92億1千万円となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の増加等により、前年同期比13億4千7百万円(24.1%)増の69億4千5百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 倉庫・港湾運送等の物流事業

倉庫・陸上運送の両事業は、食品、医薬品、自動車部品等の取扱増加により、営業収益は倉庫事業で前年同期比3.8%増の280億2千9百万円、陸上運送事業で同1.3%増の261億3千6百万円となりました。また港湾運送事業は、コンテナ貨物の収入増加等により、営業収益は前年同期比1.8%増の122億3千7百万円となりましたが、国際運送取扱事業は、輸出入貨物の取扱減少等により、営業収益は同1.5%減の254億8千3百万円となりました。

この結果、物流事業全体の営業収益は、前年同期比16億7千6百万円(1.8%)増の956億4百万円となりました。また営業費用は、貨物取扱量の増加や施設の増強に伴い人件費、減価償却費等が増加したため、前年同期比13億7千5百万円(1.5%)増の915億9千1百万円となりました。このためセグメント利益(営業利益)は、前年同期比3億円(8.1%)増の40億1千3百万円となりました。

② 不動産事業

主力の不動産賃貸事業は、テナントの異動等により、営業収益は前年同期比2.6%減の144億7千6百万円となりました。他方その他の営業収益は、マンション販売事業における販売物件の増加等により、前年同期比170.8%増の58億3千7百万円となりました。

この結果、不動産事業全体の営業収益は、前年同期比33億3百万円(19.4%)増の203億1千4百万円となりました。また営業費用は、マンション販売物件の増加に伴い不動産販売原価等が増加したほか、賃貸施設に係る修繕費の増加もあり、前年同期比35億8千3百万円(31.7%)増の148億9千4百万円となりました。このためセグメント利益(営業利益)は、前年同期比2億8千万円(4.9%)減の54億1千9百万円となりました。

セグメントごとの主要業務の営業収益

セグメント	営業収益(百万円)		前年同期比増減	
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	金額(百万円)	(%)
倉庫・港湾運送等の物流事業				
(倉庫事業)	27,013	28,029	1,016	3.8
(陸上運送事業)	25,789	26,136	347	1.3
(港湾運送事業)	12,026	12,237	210	1.8
(国際運送取扱事業)	25,876	25,483	△392	△1.5
(その他)	3,222	3,717	494	15.4
計	93,928	95,604	1,676	1.8
不動産事業				
(不動産賃貸事業)	14,855	14,476	△379	△2.6
(その他)	2,155	5,837	3,682	170.8
計	17,011	20,314	3,303	19.4
セグメント間取引消去	△959	△939	19	—
合計	109,979	114,978	4,999	4.5

(注) 上記金額には、消費税等は含まない。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、主として保有株式の時価低下に伴い「投資有価証券」が減少したため、前期末比60億6千4百万円減の4,765億1千万円となりました。

他方当第2四半期連結会計期間の負債合計は、資金調達により「短期借入金」が増加したものの、前期のマンション販売事業に係る債務の支払に伴い「営業未払金」が減少したほか、保有株式の時価低下に伴い「繰延税金負債」が減少したため、前期末比2億3百万円減の1,832億6千6百万円となりました。

また当第2四半期連結会計期間の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したものの「自己株式」の取得に伴い株主資本が全体で減少したほか、保有株式の時価低下に伴い「その他有価証券評価差額金」が減少したため、前期末比58億6千1百万円減の2,932億4千3百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間の自己資本比率は、前期末を0.5ポイント下回る60.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保等により、86億2百万円の増加（前年同期は91億1千2百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出等により、74億7千3百万円の減少（前年同期は94億1千3百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出、配当金の支払等があったものの、借入金の増加により、11億7千5百万円の増加（前年同期は24億1千8百万円の減少）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（1億2千9百万円の減少）を加えた全体で21億7千5百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は451億4千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は、営業収益が概ね期首予想（2019年4月26日発表の予想数値）に沿って進捗しており、また営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、テナントの異動等の影響を受ける不動産事業の利益の減少が想定を下回ったほか、営業外収支における為替差損益の改善もあって、いずれも期首予想を上回って進捗しております。しかしながら、当下半期については、米中貿易摩擦の影響が懸念される中、物流事業の業績動向をもう暫く見定める必要があると判断されるため、通期連結業績予想については、期首予想を据え置いておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,337	43,693
受取手形及び営業未収金	40,603	37,328
有価証券	2,000	2,000
販売用不動産	14,332	12,466
その他	6,326	6,471
貸倒引当金	△41	△41
流動資産合計	104,558	101,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	117,254	115,221
機械装置及び運搬具（純額）	4,471	4,169
土地	89,570	89,524
建設仮勘定	2,068	7,799
その他（純額）	6,134	7,625
有形固定資産合計	219,500	224,340
無形固定資産		
借地権	7,730	7,732
のれん	630	475
その他	6,327	6,314
無形固定資産合計	14,688	14,522
投資その他の資産		
投資有価証券	134,578	126,724
長期貸付金	516	513
繰延税金資産	2,914	2,865
その他	5,856	5,690
貸倒引当金	△20	△21
投資損失引当金	△17	△42
投資その他の資産合計	143,828	135,728
固定資産合計	378,016	374,591
資産合計	482,575	476,510

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	27,396	21,707
短期借入金	26,467	36,258
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	2,717	2,414
取締役賞与引当金	50	25
その他	13,558	11,727
流動負債合計	75,189	77,133
固定負債		
社債	31,000	31,000
長期借入金	24,235	23,904
長期預り金	20,679	20,626
繰延税金負債	21,870	19,877
役員退職慰労引当金	177	137
退職給付に係る負債	10,059	9,639
その他	256	946
固定負債合計	108,280	106,133
負債合計	183,470	183,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,393	22,393
資本剰余金	19,564	19,571
利益剰余金	197,675	201,992
自己株式	△844	△5,846
株主資本合計	238,788	238,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,098	52,380
為替換算調整勘定	233	△173
退職給付に係る調整累計額	45	△34
その他の包括利益累計額合計	57,377	52,171
非支配株主持分	2,938	2,959
純資産合計	299,104	293,243
負債純資産合計	482,575	476,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業収益		
倉庫保管料	12,920	13,629
倉庫荷役料	8,855	9,094
陸上運送料	25,788	26,136
港湾荷役料	9,517	9,443
国際運送取扱料	25,818	25,434
不動産賃貸料	15,781	15,773
その他	11,297	15,466
営業収益合計	109,979	114,978
営業原価		
作業運送委託費	48,564	48,554
人件費	18,965	19,272
施設賃借費	4,767	4,614
減価償却費	6,121	6,684
その他	19,669	23,988
営業原価合計	98,089	103,115
営業総利益	11,889	11,863
販売費及び一般管理費	5,332	5,253
営業利益	6,557	6,609
営業外収益		
受取利息	25	28
受取配当金	1,847	1,937
持分法による投資利益	1,036	701
その他	273	266
営業外収益合計	3,181	2,934
営業外費用		
支払利息	250	285
為替差損	518	—
その他	53	47
営業外費用合計	821	333
経常利益	8,917	9,210
特別利益		
固定資産処分益	37	58
投資有価証券売却益	10	1,665
投資損失引当金戻入額	20	—
特別利益合計	68	1,723
特別損失		
固定資産処分損	150	1,031
減損損失	69	—
投資有価証券評価損	—	37
投資損失引当金繰入額	—	25
災害による損失	724	—
特別損失合計	943	1,093
税金等調整前四半期純利益	8,042	9,840
法人税等	2,319	2,806
四半期純利益	5,722	7,033
非支配株主に帰属する四半期純利益	124	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,598	6,945

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	5,722	7,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,856	△4,700
為替換算調整勘定	△543	△352
退職給付に係る調整額	△24	△79
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	△79
その他の包括利益合計	6,261	△5,212
四半期包括利益	11,984	1,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,846	1,740
非支配株主に係る四半期包括利益	137	80

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,042	9,840
減価償却費	6,322	6,899
減損損失	69	—
引当金の増減額 (△は減少)	△18	26
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△368	△421
受取利息及び受取配当金	△1,872	△1,966
支払利息	250	285
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10	△1,665
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	37
売上債権の増減額 (△は増加)	△711	3,178
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△847	1,865
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,114	△5,627
預り金の増減額 (△は減少)	△290	△1,985
その他	366	△1,271
小計	8,816	9,195
利息及び配当金の受取額	3,170	2,592
利息の支払額	△284	△270
法人税等の支払額	△2,590	△2,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,112	8,602
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△9,403	△10,302
固定資産の売却による収入	46	96
投資有価証券の取得による支出	△30	△275
投資有価証券の売却による収入	23	2,991
その他	△49	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,413	△7,473
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の純増減額 (△は減少)	5,898	9,505
社債の償還による支出	△7,000	—
自己株式の取得による支出	△1	△5,014
配当金の支払額	△1,226	△2,626
その他	△90	△689
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,418	1,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	△175	△129
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,895	2,175
現金及び現金同等物の期首残高	39,580	42,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,684	45,147

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年4月26日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において普通株式1,682,600株、4,999百万円の自己株式を取得しております。

(会計方針の変更)

当第2四半期連結累計期間
(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	倉庫・港湾運送 等の物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	93,558	16,420	109,979	—	109,979
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	369	590	959	△959	—
計	93,928	17,011	110,939	△959	109,979
セグメント利益	3,712	5,699	9,411	△2,853	6,557

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,853百万円には、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,874百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	倉庫・港湾運送 等の物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	95,198	19,780	114,978	—	114,978
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	406	533	939	△939	—
計	95,604	20,314	115,918	△939	114,978
セグメント利益	4,013	5,419	9,432	△2,822	6,609

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,822百万円には、セグメント間取引消去17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,840百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。